

記

- 事前質問) 1. 事前に資源循環推進課に建設申請当時の排水溝のみの図面・平成15年10月でのスラグ集水構がプラスされた図面・今回集水構での対策をとった図面の3種類の図面を用意しましたか？
2. 説明責任のある埼玉県環境部資源循環課長と、現場のオリックス資源循環(株)工場長は説明しますか？
- 1) 今回の鉛流出について埼玉県としてどのくらい重要なこととして捉えていますか？
- 2) 鉛流出は、創業時から徐々に濃度が高くなり、対処を終えた10月14日まで長期にわたり塩沢川を通り荒川に流れ続けていたと担当課である資源循環推進課で確認しましたが、間違いありませんか？
- 3) 塩沢川は農業用水です。近隣農家に知らせましたか？また荒川は県民・東京都民の飲み水です。県民・東京都民に知らせましたか？
塩沢川の水質での鉛濃度が低くても農地には量として蓄積していきます。これら農地の土壌測定はしましたか？鉛汚染対策はとりましたか？
今回の鉛流出による塩沢川や荒川汚染について埼玉県の見解は？
今回の事態を重く見て、これから定期的に土壌測定をしていく予定はありませんか？
- 4) しかし、土壌汚染は一度汚染されてしまうときれいな土に入れ替えても、再びもとに戻ってしまうことをご存知ですか？
今回の鉛流出による土壌汚染について埼玉県の見解は？
- 5) 応急措置的な対策を取り、現在排水溝には鉛は流出していないとのことですが、いまだに“水砕水”には鉛が溶出しつづけ、スラグに鉛が着いていることに変わりはありません。
根本的対策である、水砕水に重金属類や有害化学物質を溶け出さないようになりましたか？
- 6) 排水は全て「クローズドシステム」という地元との約束でしたが、それが破綻していた。
この欠陥システム導入の責任の所在は？
- 7) スラグに付着した水砕水が自然乾燥した時、スラグそのものに重金属類や有害化学物質は付いたままです。取扱いによっては重金属類や有害化学物質が大気中に舞うことが予測され、また自然乾燥でスラグヤード床にも重金属類や有害化学物質は付着し、スラグヤード周辺床も汚染されています。
そして周辺床から大気中に舞うことも予測されます。また、スラグ移送中、搬出先でも同様に環境中に放出されてしまいます。
このような2次3次の重金属類や有害化学物質の汚染対策と徹底回収はどのようにしますか？
- 8) スラグ貯留ヤードには、雨水排水溝の内側にスラグ水集水溝があり、油水分離槽につながっています。これは水砕水汚染とスラグへの汚染を想定していたのでは？
- 9) 汚染が発覚した時点で操業を停止すれば汚染が最小限で食い止められました。また、常時測定していればさらに汚染発覚が早かったはずで、常時測定導入予定は？
発覚した時点で操業停止措置、原因追求・対策を行いましたか？
どれだけの期間、不手際により汚染が続きましたか？
汚染放置の責任の所在はどこで、制度的改善(処分を含む)はどのようにしましたか？
- 10) 通常でない値が出た時、その値の評価は誰がしていますか？
公害専門家や専門第三者機関での検討をしましたか？
- 11) 今回は鉛以外にも重金属類や有害化学物質汚染の可能性もあります。その調査はしましたか？
- 12) これは埼玉県による公の事業です。県は責任を持ってこのたびの鉛流出について原因と結果、今後の対策などを、速やかにHPや県の広報誌などに掲載し、情報公開しましたか？
また、最高責任者である県知事にはいつどのように報告しましたか？
- 13) 今回の鉛、ダイオキシンなど人体に影響を与える有害化学物質や重金属類は、運営協定での雨水測定ではどこまでいけば“異常値”として扱われるのですか？
本来この工場から雨水には出るはずのないものなので、環境基準を超えること自体が異常なのでは？
- 14) 想定していたのであれば、水砕水の水質管理はどうしていたのですか？鉛以外の物質の水質測定は？
- 15) 9月1日以降の本施設での修理工事は？詳しいフロー図を付け、全て情報公開してください。